

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊丹南町団地建替(第2期)建設工事	階数	地上7F
建設地	伊丹市 南町2丁目31番、33-1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	91人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年9月13日
敷地面積	1,319㎡	作成者	七田 英治
建築面積	464㎡	確認日	2021年9月13日
延床面積	2,062㎡	確認者	宮崎 秀和



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物の長寿命化や更新性、メンテナンス性に配慮した計画としている。		<b>その他</b> 照明器具は外灯も含め、長寿命のLEDを採用している。
<b>Q1 室内環境</b> 内装材は規制対象外、又は、F☆☆☆☆の建材を使用し、シックハウスに配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 住棟内外および住戸内はバリアフリーとし、高齢者等へ配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地をできる限り多く確保している。歩車分地に配慮した配置計画を行い、敷地内の安全に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 給湯器は潜熱回収型給湯器を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 内装パネル工法の採用により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 住棟を出来る限りセットバックすることで、周辺環境への圧迫感を軽減するように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される